

7 主な施設運営に係るコスト計算書

(1) 対象施設

ここでは、広く区民に利用され行政が継続的に担う公共施設のうち、使用料や手数料を運営費に充てている施設を主に選定しています。

(2) 内容

令和5年度の状況及び今後の展望、かかった経費（改築に係る経費は除く）とその財源に加え、地方公会計制度の考え方に基づいた現金以外のコストとして減価償却費を盛り込んでいます。

※ 平成27年度版から「足立区施設白書 平成28年4月発行」のコスト計算書をベースに掲載項目、名称等を変更しました。施設の利用内容にあわせて、一部表記等を変更している場合があります。

<<表の見方>>

(施設名)に係るコスト計算書			
施設運営を行う上でかかる修繕費や光熱水費、委託料などが含まれています。		(〇〇部 〇〇課)	
及び今後の展望		この施設の担当課です。	
2 コスト計算書		令和4年度	令和5年度
【費用の部】			
①施設にかかるコスト			
修繕費			
光熱水費			
①の合計			
②運営・事業にかかるコスト			
一般職員人件費	一般職員 R4:@8,054*人員、R5:@8,143*人員で計算 再任用職員 R4:@3,696*人員、R5:@3,985*人員で計算 会計年度任用職員 報酬月額*勤務月数*人員*1.3で計算しています。		
再任用職員人件費			
会計年度任用職員人件費			
臨時職員人件費			
修繕費			
委託費			
使用料及び賃借料			
車両・備品購入費			
負担金補助及び交付金	経年で減少する建物等の価値を、更新時に必要となるコストとしてとらえています。例えば、鉄筋コンクリート造の場合は、取得額を耐用年数50年で割った額が計上されています。		
その他物件費			
②の合計			
③指定管理委託料			
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)			
④減価償却費相当額			
【収入の部】			
⑤収入	利用者が支払った使用料や手数料などのほか、国・都等からの収入を計上しています。		
使用料収入			
⑤の合計			
【総括】			
⑥トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)			
⑦収支差額 (ネットコスト⑥-⑤)			
⑧年間利用件数 (件)			
利用一件あたりトータルコスト (⑥/⑧) (円)			
うち区の支出額 (⑦/⑧) (円)			
⑨足立区の人口 (4月1日現在) (人)		689,258	691,372
区民一人あたりトータルコスト (⑥/⑨) (円)			
うち区の支出額 (⑦/⑨) (円)			
令和4年4月1日現在の足立区の人口		令和5年4月1日現在の足立区の人口	

※表示金額は、表示単位未満の端数調整をしていないため、加減乗除をした金額に一致しない場合があります。

主な施設運営に係るコスト計算書総括

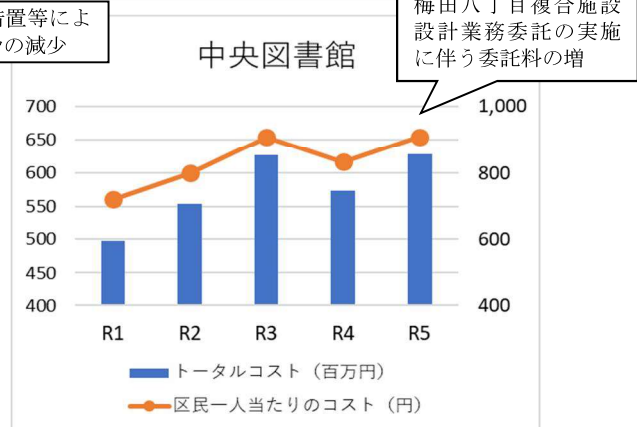
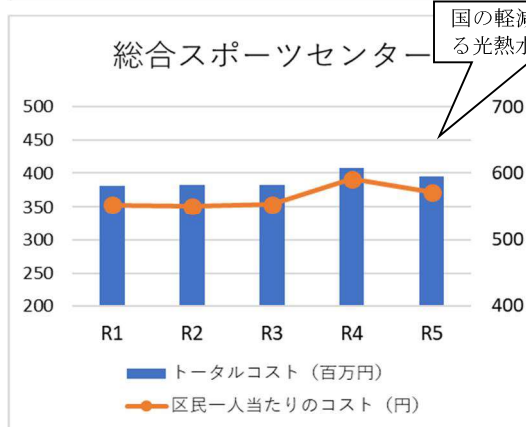
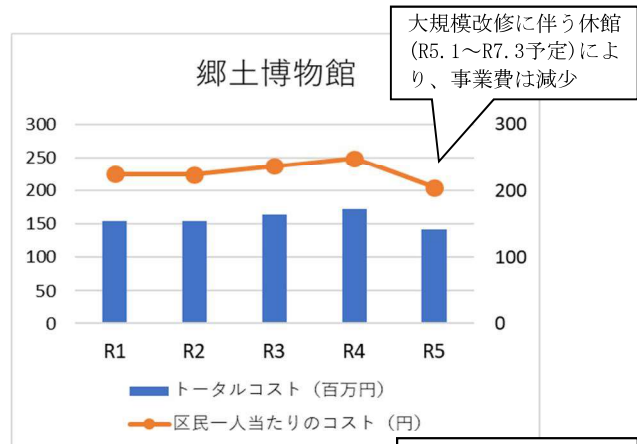
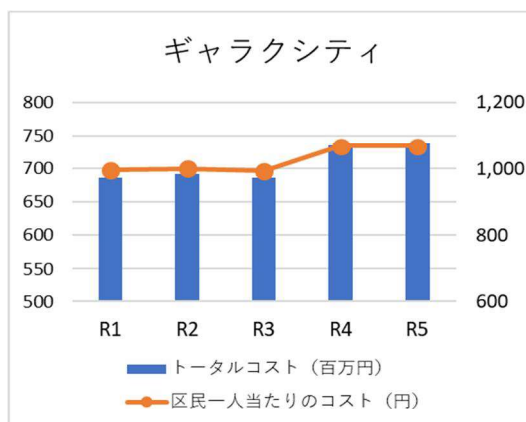
1 現状

- (1) 光熱水費は、国の軽減措置等により令和4年度に比べて減少傾向にある一方、物価高騰や労務単価の上昇の影響により委託料、修繕費などのコストは増加傾向にあります。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、各施設の利用者数は回復傾向にあるものの、大半の施設でコロナ禍前の水準にまでは至っていない状況です。

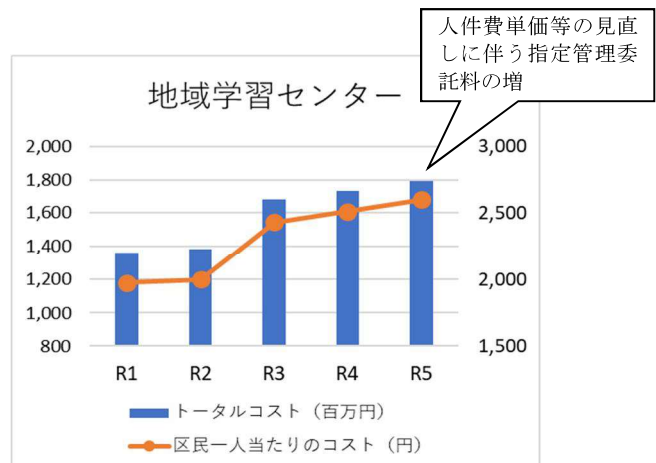
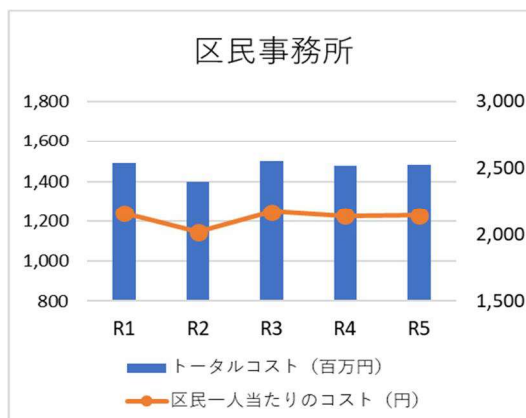
2 今後の方向性

物価高騰や労務単価の上昇等の影響を注視しながら、今後も適切に公共施設を維持し続けられるよう、コストの抑制や収入の確保の方法を検討していきます。

【文化・スポーツ施設】

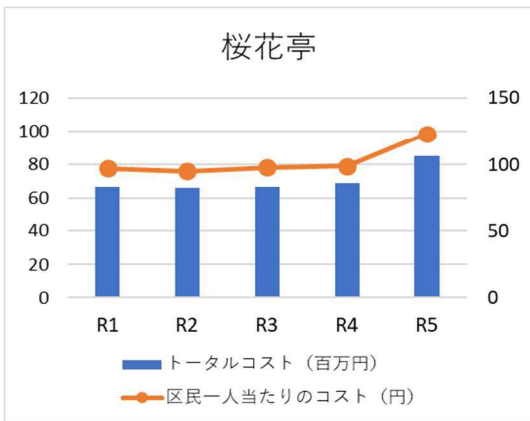
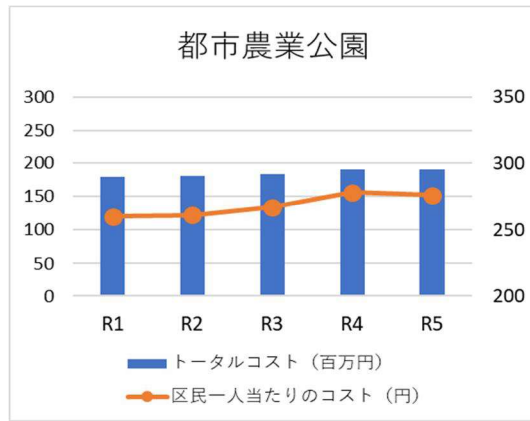
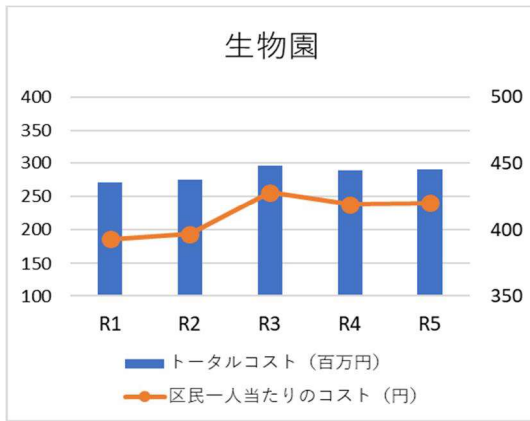


【地域施設】



※グラフの左軸はトータルコスト、右軸は区民一人当たりのコスト

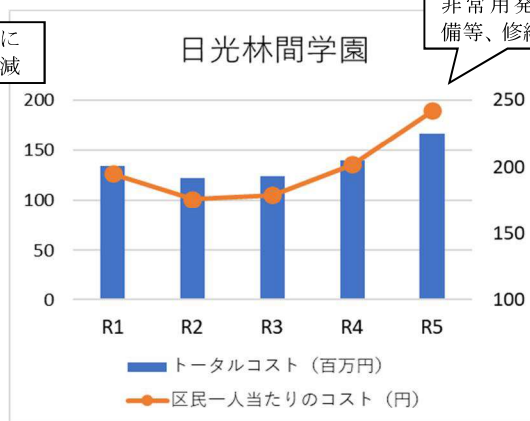
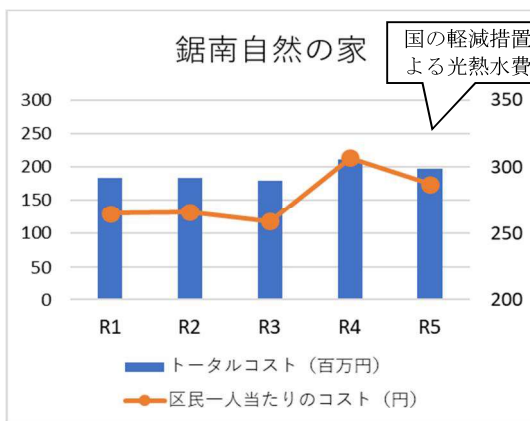
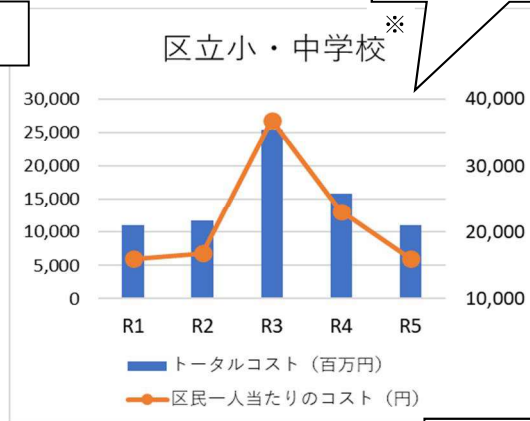
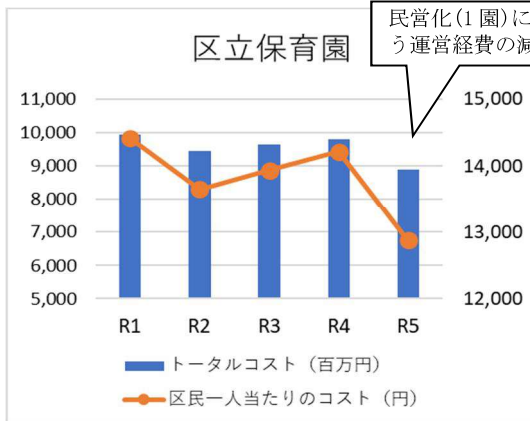
【公園施設】



※学校に係る経費のうち、維持・整備経費及び学校建設費を基にコスト計算をしています。

新築・改築工事実施校数
R3：4校、R4：2校、R5：1校
R3はコロナの影響で順延したR2トイレ改修等(57件)も実施しています。

【子ども関連施設】



※グラフの左軸はトータルコスト、右軸は区民一人当たりのコスト

ギャラクシティ(足立区こども未来創造館・足立区西新井文化ホール)に係るコスト計算書

(地域のちから推進部 地域文化課)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況		
ア	8月に区内企業30社にご協力いただき、子どもたちがプロからお仕事を学ぶ「夏休みこどもおしごとらんどinあだち」を開催しました。アンケートでは、子どもたち、協力企業の双方がやりがいを感じ、満足度の高いイベントとなりました。	
イ	11月に鉄道会社3社にご協力いただき「あだち鉄道ミュージアムスペシャル」を開催しました。子どもから大人まで楽しめる鉄道イベントとなりました。	
ウ	1月と2月に開催したジャパンフェスタでは、子どもたちに興味を持ってもらえるよう、テーマを「ギャラクの妖怪」とし、妖怪の要素を取り入れた日本舞踊や和楽器などの体験・鑑賞を通じて、子どもたちに日本の伝統文化の体験と学びの機会を提供しました。	
	【施設利用状況】	令和4年度 令和5年度
	施設来館者数	1,098,630人 1,305,248人 (令和4年度比19%増)
	(内訳) こども未来創造館	1,004,276人 1,191,547人 (令和4年度比19%増)
	西新井文化ホール	94,354人 113,701人 (令和4年度比21%増)
(2) 今後の展望		
遊具や科学・工作教室の体験事業に加え、ジャパンフェスタやこどもおしごとらんど等のイベントを開催し、引き続き子どもたちの学び・体験する機会を創出していきます。		

(千円)

2 コスト計算書

	令和4年度	令和5年度
【費用の部】		
①施設にかかるコスト		
修繕費	784	1,621
委託費	0	0
使用料及び賃借料	51,139	51,081
その他物件費	63	29
①の合計	51,986	52,731
②運営・事業にかかるコスト		
委員報酬(給与費)	264	347
委託費	2,716	5,000
その他物件費	219	26
②の合計	3,199	5,373
③指定管理委託料	558,266	557,829
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	613,451	615,933
④減価償却費相当額	121,759	121,759
【収入の部】		
⑤収入		
使用料・財産収入	50,238	49,625
諸収入	11,022	9,573
⑤の合計	61,260	59,198
【総括】		
⑥トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③+④)	735,210	737,692
⑦収支差額(ネットコスト⑥-⑤)	673,950	678,494
⑧年間利用者数(人)	1,098,630	1,305,248
利用一人あたりトータルコスト(⑥/⑧)(円)	669	565
うち区の支出額(⑦/⑧)(円)	613	520
⑨足立区の人口(4月1日現在)(人)	689,258	691,372
区民一人あたりトータルコスト(⑥/⑨)(円)	1,067	1,067
うち区の支出額(⑦/⑨)(円)	978	981

■ブラネタリウム観覧料 1回：大人500円、小中高生100円 1日：大人800円、小中高生160円
 団体(20人以上)：大人400円、小中高生80円
 年間パスポート：大人1,500円、小中高生300円

■貸室使用料 1時間使用料：250円～(部屋によって異なります)

■西新井文化ホール(902席)

※光熱水費は指定管理委託料に合算

足立区立郷土博物館に係るコスト計算書

(地域のちから推進部 地域文化課)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況	
ア	大規模改修工事に伴い、令和5年1月から令和7年3月(予定)まで休館しています。
イ	出張展示において、「横山家住宅」(2日間)、広重忌「一日だけの広重展」を開催しました。
	【来場者数】 「横山家住宅」 918人(1日目 412名、2日目 506名) 広重忌「一日だけの広重展」 186人
ウ	学芸員による講師派遣事業として、依頼のあったテーマに沿って講義を行いました。
	【講師派遣数】 14回
エ	Web事業として「電子展覧会」を公開しました。
	【Web事業アクセス数】 電子展覧会 9,523回
オ	文化遺産調査のPRとして、令和3年4月から区公式X(旧Twitter)で開始した文化遺産調査マンガ「ビビビ美アダチ」(全27話)を中心に加筆を含めて再構成し書籍化しました。
	【刊行数】 2,000冊
(2) 今後の展望	
令和7年度のリニューアルオープンに向け準備を進めていくとともに、引き続き、文化遺産調査の成果を電子展覧会や出張展示等を通じて周知していきます。	

(千円)

2 コスト計算書

	令和4年度	令和5年度
【費用の部】		
①施設にかかるコスト		
一般職員人件費	36,243	32,572
再任用職員人件費	7,392	0
修繕費	178	627
光熱水費	9,557	2,020
委託費	21,784	5,092
①の合計	75,154	40,311
②運営・事業にかかるコスト		
一般職員人件費	36,243	24,429
会計年度任用職員人件費	14,075	12,714
修繕費	1,033	1,458
委託費	11,346	6,257
使用料及び賃借料	751	21,155
負担金補助及び交付金	53	73
その他物件費	12,462	14,830
②の合計	75,963	80,916
③指定管理委託料	0	0
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	151,117	121,227
④減価償却費相当額	20,495	20,495
【収入の部】		
⑤収入		
使用料収入	745	0
諸収入	845	12
⑤の合計	1,590	12
【総括】		
⑥トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③+④)	171,612	141,722
⑦収支差額(ネットコスト⑥-⑤)	170,022	141,710
⑧年間利用者数(人)	13,560	0
利用一人あたりトータルコスト(⑥/⑧)(円)	12,656	0
うち区の支出額(⑦/⑧)(円)	12,538	0
⑨足立区の人口(4月1日現在)(人)	689,258	691,372
区民一人あたりトータルコスト(⑥/⑨)(円)	249	205
うち区の支出額(⑦/⑨)(円)	247	205

■利用料金(観覧料)

一般 200円(高校生以上70歳未満)

団体 100円(20人以上及び足立区勤労福祉サービスセンター「ゆう」の会員)

足立区総合スポーツセンターに係るコスト計算書

(地域のちから推進部 スポーツ振興課)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況		
ア	施設の利用者数は、昨年度比10%増の408,053人となりました。施設使用料収入は、屋外スポーツ施設（プール、テニスコート、多目的広場）を含め、514千円の増となっています。施設使用料収入増の主な要因は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための人数制限、時間短縮が緩和したことが挙げられます。	
イ	施設利用状況	
	令和4年度	令和5年度
年間利用者数	371,652人	408,053人（令和4年度比10%増）
個人利用	87,897人	97,371人（令和4年度比11%増）
団体利用	283,755人	310,682人（令和4年度比9%増）
ウ	登録団体の状況 【22種目 51団体 延べ2,037人】	
	合気道3 日本拳法1 空手3 器械体操1 剣道2 健康体操1 真向法1 柔道1 卓球6 サウンドテーブルテニス1 トランポリン4 ヨーガ4 バドミントン2 バウンディングテニス4 ファミリーテニス5 なぎなた1 バスケ2 ランニング1 ビーチボールバレー4 バレーボール1 フットサル2 新体操1	
(2) 今後の展望		
	行政評価の目標値である利用者数（47万人）に向け、次の取り組みを行います。	
ア	トレンドを意識した魅力的な企画を実施	
イ	指定管理者と連携しながら、あだち広報やSNS等での積極的な周知	

(千円)

2 コスト計算書

	令和4年度	令和5年度
【費用の部】		
①施設にかかるコスト		
光熱水費	68,266	55,321
①の合計	68,266	55,321
②運営・事業にかかるコスト	0	0
③指定管理委託料	235,250	236,000
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	303,516	291,321
④減価償却費相当額	103,961	103,961
【収入の部】		
⑤収入		
使用料収入	57,119	57,633
⑤の合計	57,119	57,633
【総括】		
⑥トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③+④)	407,477	395,282
⑦収支差額(ネットコスト⑥-⑤)	350,358	337,649
⑧年間利用者数(人)	371,652	408,053
利用一人あたりトータルコスト(⑥/⑧)(円)	1,096	969
うち区の支出額(⑦/⑧)(円)	943	827
⑨足立区の人口(4月1日現在)(人)	689,258	691,372
区民一人あたりトータルコスト(⑥/⑨)(円)	591	572
うち区の支出額(⑦/⑨)(円)	508	488

■ 団体利用料金 ※利用時間帯によって異なります(26.10.1料金改定)
()は個人一般利用料金/時間区分

大体育室 6,600円～(300円) 小体育室 2,200円～(300円) 柔道場 1,400円～(300円)
剣道場 2,700円～(300円) 弓道場 1,400円～(300円) エアリアル場 2,200円～(550円)

足立区立中央図書館に係るコスト計算書【地域図書館を除く】

(地域のちから推進部 中央図書館)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況

中央図書館は、区内に15館ある区立図書館の企画展示や蔵書構成等の図書館の基本方針を決定する中心館として、資料を収集、保存し、区民の利用に供しています。

令和5年度は、子ども向けのイベントの充実により来館のきっかけ作りをしたことや、閲覧席をコロナ禍以前に戻すなど居場所としての環境を提供したことなどが入館者数の増加につながり、コロナ禍前の令和元年度以前の水準まで回復しました。

また、図書館の未返却図書資料の発生を予防し、長期未返却の図書資料を新たに「増やさない」取り組みを推進するため、「未返却図書資料対策プラン」を策定しました。対策の一環として返却の利便性を向上させるため、区内3か所の商業施設に返却用ブックポストを設置しました。

【施設利用状況】 来館者数 476,330人 (令和4年度比6%増)

利用時間 午前9時～午後8時

開館日数 327日

登録者数 一般33,606人、児童4,250人

【貸出状況】 貸出点数 個人貸出数 413,217点、団体貸出数 82,767点

蔵書数 652,722点 ※ 蔵書数・貸出点数は雑誌・音楽映像資料含む

(2) 今後の展望

足を向けたくなるイベントや居心地の良い空間に多くの区民が集まるような図書館づくりを進めていきます。そのために、図書館協議会をはじめ外部の意見も取り入れたうえで、選書や展示など様々な面で図書館サービスの充実を図ります。

(千円)

2 コスト計算書

	令和4年度	令和5年度
【費用の部】		
①施設にかかるコスト		
その他物件費	76	72
①の合計	76	72
②運営・事業にかかるコスト		
一般職員人件費	169,134	162,860
会計年度任用職員人件費	110,762	108,282
再任用職員人件費	0	3,985
臨時職員人件費	0	0
修繕費	278	548
委託費	200,889	258,165
使用料及び賃借料	12,686	17,219
車両・備品購入費	704	1,310
負担金補助及び交付金	42	42
その他物件費	79,485	75,770
②の合計	573,980	628,181
③指定管理委託料	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	574,056	628,253
④減価償却費相当額	0	0
【収入の部】		
⑤収入		
使用料収入	40	0
諸収入	0	500
読書活動推進事業寄付金	1,250	2,811
⑤の合計	1,290	3,311
【総括】		
⑥トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	574,056	628,253
⑦収支差額 (ネットコスト⑥-⑤)	572,766	624,942
⑧年間貸出点数 (点)	436,484	413,217
貸出一点あたりトータルコスト ((⑥/⑧) (円))	1,315	1,520
うち区の支出額 ((⑦/⑧) (円))	1,312	1,512
⑨足立区の人口 (4月1日現在) (人)	689,258	691,372
区民一人あたりトータルコスト ((⑥/⑨) (円))	833	909
うち区の支出額 ((⑦/⑨) (円))	831	904

※中央図書館の光熱水費、減価償却費等は、生涯学習センターに計上するため除外しています。

※各地域図書館に振り分けできない主催事業等のコストは中央図書館で計上されています。

区民事務所に係るコスト計算書

(地域のちから推進部 地域調整課)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況

ア 令和5年度の窓口業務取扱件数及び収納額は、令和4年度と比較していずれも減少しました。

	令和4年度	令和5年度
【業務取扱件数】	717,230件	658,407件 (令和4年度比 8.9%減)
【収納額】	769,259,700円	694,136,956円 (令和4年度比10.8%減)

イ 端末装置等の入替完了に伴う事務用機器更新などの諸費用や光熱水費等が減少しました。一方、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う、交際費や負担金補助及び交付金(管外出張費)の増や、会計年度任用職員の増や人件費単価の上昇に伴う人件費の増等により全体コストは増加しました。

(2) 今後の展望

個人番号カードの普及に伴い総取扱件数は減少傾向にある一方、個人番号カード関連事務は増加傾向が顕著であり、情報管理の厳格化や事務処理の迅速化等の対応が求められます。令和7年度には個人番号カード再交付及び電子証明書更新の対象者の大幅な増加が見込まれていることから、関係部署等と緊密に連携し、令和6年度中に適切に準備を進めていきます。

(千円)

2 コスト計算書

	令和4年度	令和5年度
【費用の部】		
①施設にかかるコスト		
修繕費	1,935	1,472
光熱水費	5,533	4,447
①の合計	7,468	5,919
②運営・事業にかかるコスト		
一般職員人件費	1,304,748	1,311,023
再任用職員人件費	18,480	19,925
会計年度任用職員人件費	50,996	57,338
修繕費	261	358
委託費	12,835	11,859
使用料及び賃借料	4,710	5,626
車両・備品購入費	4,187	3,527
負担金補助及び交付金	275	883
その他物件費	28,495	22,753
②の合計	1,424,987	1,433,292
③指定管理委託料	0	0
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	1,432,455	1,439,211
④減価償却費相当額	42,112	42,112
【収入の部】		
⑤収入		
手数料収入	153,186	140,984
⑤の合計	153,186	140,984
【総括】		
⑥トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③+④)	1,474,567	1,481,323
⑦収支差額(ネットコスト⑥-⑤)	1,321,381	1,340,339
⑧年間利用件数(件)	717,230	658,407
利用一件あたりトータルコスト(⑥/⑧)(円)	2,056	2,250
うち区の支出額(⑦/⑧)(円)	1,842	2,036
⑨足立区の人口(4月1日現在)(人)	689,258	691,372
区民一人あたりトータルコスト(⑥/⑨)(円)	2,139	2,143
うち区の支出額(⑦/⑨)(円)	1,917	1,939

■ 主な手数料

・ 戸籍全部個人事項証明書	450円	・ 戸籍の除籍謄本抄本	750円
・ 印鑑登録証明書交付手数料	300円	・ 印鑑登録証交付手数料	50円
・ 住民票写し交付手数料	300円		

※地域学習センターに併設の区民事務所の光熱水費は、地域学習センターに計上しています。

※興本区民事務所の光熱水費は、施設白書では興本住区センターに計上するため除外しています。

足立区地域学習センターに係るコスト計算書 【地域図書館、地域体育館を除く】

(地域のちから推進部 生涯学習支援課)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況			
様々な講座やイベントの実施により、多くの方々にご参加いただきました。			
ア 講座実施状況			
	令和4年度	令和5年度	
(ア) 講座実施数	3,754件	3,451件	(令和4年度比 8.1%減)
うち子ども・親子が対象	1,313件	1,194件	(令和4年度比 9.1%減)
(イ) 講座参加者数	63,929人	70,283人	(令和4年度比 9.9%増)
うち子ども・親子が対象	14,312人	17,842人	(令和4年度比24.7%増)
イ 施設利用状況			
	令和4年度	令和5年度	
(ア) 施設利用者総数	579,480人	585,467人	(令和4年度比 1.0%増)
(内訳) 団体利用	272,154人	276,432人	(令和4年度比 1.6%増)
館主催事業等	307,326人	309,035人	(令和4年度比 0.6%増)
(イ) 登録団体の状況	349団体	318団体	
(2) 今後の展望			
指定管理者と連携し、施設の維持管理を適切に行いながら、区民の生涯学習の充実と自主的な学習活動を支援していきます。			

(千円)

2 コスト計算書

	令和4年度	令和5年度
【費用の部】		
①施設にかかるコスト		
修繕費	32,986	30,925
光熱水費	121,726	134,686
①の合計	154,712	165,611
②運営・事業にかかるコスト	0	0
③指定管理委託料	1,170,677	1,209,689
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	1,325,389	1,375,300
④減価償却費相当額	404,757	404,757
【収入の部】		
⑤収入		
使用料収入	55,552	51,627
諸収入	1,517	1,877
⑤の合計	57,069	53,504
【総括】		
⑥トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③+④)	1,730,146	1,780,057
⑦収支差額(ネットコスト⑥-⑤)	1,673,077	1,726,553
⑧年間利用件数(件)	579,480	585,467
利用一件あたりトータルコスト(⑥/⑧)(円)	2,986	3,040
うち区の支出額(⑦/⑧)(円)	2,887	2,949
⑨足立区の人口(4月1日現在)(人)	689,258	691,372
区民一人あたりトータルコスト(⑥/⑨)(円)	2,510	2,575
うち区の支出額(⑦/⑨)(円)	2,427	2,497

■利用料金 ※利用時間帯によって異なります(26.10.1料金改定)
 学習室 1,100円～ 料理室 2,500円～
 音楽室 1,100円～ レクリエーションホール2,100円～

※指定管理料は複合施設全体の光熱水費(一部電気料金を除く)及び設備維持管理経費が含まれています。
 ※平成27年度より新電力移行に伴い、指定管理委託料に含んでいた電気料金を光熱水費に科目変更しています。

7 主な施設運営に係るコスト計算書

生物園に係るコスト計算書

(都市建設部 パークイノベーション推進課)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況
 開園30周年を記念したキャンペーンとして、生物園の歴史がわかる特設サイトほか、なぞ解きイベントや来園者の思い出をテーマに企画展などを実施しました。また、環境省と全国の昆虫施設が連携した希少種保全の普及啓発に取り組むとともに、ホテル観賞会やポニー乗馬など、生きものたちと接する機会を提供しました。

【年間利用者数】 令和4年度 210,173人 令和5年度 236,762人 (+26,589人)

(2) 今後の展望
 開園から30年を経過したため、必要に応じて補修を行いつつ、内装・外装等の大規模改修に向けた設計を令和10年度に予定しています。子どもたちの興味関心をさらに引き出し、利用者の満足度があがる施設づくりを目指します。

(千円)

2 コスト計算書

	令和4年度	令和5年度
【費用の部】		
①施設にかかるコスト		
修繕費他	471	1,269
光熱水費	32,567	28,474
①の合計	33,038	29,743
②運営・事業にかかるコスト		
修繕費	20,902	25,462
研究会運営費	0	0
②の合計	20,902	25,462
③指定管理委託料	208,816	209,391
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	262,756	264,596
④減価償却費相当額	25,794	25,794
【収入の部】		
⑤収入		
使用料収入	7,216	3,969
⑤の合計	7,216	3,969
【総括】		
⑥トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③+④)	288,550	290,390
⑦収支差額(ネットコスト⑥-⑤)	281,334	286,421
⑧年間利用者数(人)	210,173	236,762
利用一人あたりトータルコスト(⑥/⑧)(円)	1,373	1,227
うち区の支出額(⑦/⑧)(円)	1,339	1,210
⑨足立区の人口(4月1日現在)(人)	689,258	691,372
区民一人あたりトータルコスト(⑥/⑨)(円)	419	420
うち区の支出額(⑦/⑨)(円)	408	414

■入園料

【一般】年間パスポート	1,200円	【小・中学生】年間パスポート	600円
一日券 個人	300円	一日券 個人	150円
一日券 団体	200円	一日券 団体	100円
(1団体20名以上)		(1団体20名以上)	

■駐車場使用料

8:00～22:00	30分毎	100円	最大	600円
22:00～8:00	60分毎	100円	最大	300円

都市農業公園に係るコスト計算書

(都市建設部 パークイノベーション推進課)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況

春の花まつりや秋の収穫祭のほか、ハロウィンをテーマに園内各所を巡るスタンプラリーをはじめとしたオータムフェスティバルを開催しました。

また、農作業体験教室やハーブ教室などにより自然とふれあう機会を提供したほか、草木染や紙すきなど昔体験のプログラムを実施しました。

【年間利用者数】	令和4年度	令和5年度	
	339,986人	354,609人	(+14,623人)

(2) 今後の展望

開園から40年経過しているため、施設の内装・外装等の大規模改修に向けた設計を令和8年度に予定しています。改修工事は令和9年度から行う予定です。自然の恵みや豊かさを一日中感じられる施設づくりを目指し、さらなる利用者の増を図っていきます。

(千円)

2 コスト計算書

		令和4年度	令和5年度
【費用の部】			
①施設にかかるコスト			
	修繕費他	60	60
	光熱水費	16,107	14,636
	①の合計	16,167	14,696
②運営・事業にかかるコスト			
	修繕費	10,530	11,252
	②の合計	10,530	11,252
③指定管理委託料			
		133,667	133,688
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)		160,364	159,636
④減価償却費相当額			
		30,994	30,994
【収入の部】			
⑤収入			
	使用料収入	3,988	3,933
	⑤の合計	3,988	3,933
【総括】			
⑥トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)		191,358	190,630
⑦収支差額 (ネットコスト⑥-⑤)		187,370	186,697
⑧年間利用者数 (人)		339,986	354,609
利用一人あたりトータルコスト (⑥/⑧) (円)		563	538
うち区の支出額 (⑦/⑧) (円)		551	526
⑨足立区の人口 (4月1日現在) (人)		689,258	691,372
区民一人あたりトータルコスト (⑥/⑨) (円)		278	276
うち区の支出額 (⑦/⑨) (円)		272	270

■施設使用料 会議室 5,800円～ ※使用時間帯によって異なります

■駐車場使用料 30分毎 普通車 100円 (当日最大900円)
大型車 200円 (当日最大1,800円)

桜花亭に係るコスト計算書

(都市建設部 パークイノベーション推進課)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

<p>(1) 令和5年度の状況</p> <p>花畑公園では、さくらまつりのほか、福祉施設出店のサマーフェスティバル、近隣施設・大学と連携したオータムフェスティバルなどのイベントを実施しました。庭園においては、クイズに答えながら日本庭園を学ぶ機会を提供したほか、ホテル観賞会や紅葉ライトアップにより日本文化に親しむ場を提供しました。</p>							
<p>【年間来園者数】</p>	<table border="0"> <tr> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>89,895人</td> <td>87,028人</td> <td>(△2,867人)</td> </tr> </table>	令和4年度	令和5年度		89,895人	87,028人	(△2,867人)
令和4年度	令和5年度						
89,895人	87,028人	(△2,867人)					
<p>(2) 今後の展望</p> <p>開園から40年経過しているため、施設の内装・外装等の大規模改修に向けた設計を令和9年度に予定しています。改修工事は令和10年度から行う予定です。日本庭園ならではの四季を楽しめる施設づくりを目指し、利用者の満足度の向上を図っていきます。</p>							

(千円)

2 コスト計算書

	令和4年度	令和5年度
【費用の部】		
①施設にかかるコスト		
修繕費他	397	67
光熱水費	8,175	6,353
①の合計	8,572	6,420
②運営・事業にかかるコスト		
修繕費	3,621	6,144
②の合計	3,621	6,144
③指定管理委託料	48,685	64,900
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	60,878	77,464
④減価償却費相当額	7,696	7,696
【収入の部】		
⑤収入		
使用料収入	3,454	5,328
⑤の合計	3,454	5,328
【総括】		
⑥トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③+④)	68,574	85,160
⑦収支差額(ネットコスト⑥-⑤)	65,120	79,832
⑧年間利用者数(人)	89,895	87,028
利用一人あたりトータルコスト(⑥/⑧)(円)	763	979
うち区の支出額(⑦/⑧)(円)	724	917
⑨足立区の人口(4月1日現在)(人)	689,258	691,372
区民一人あたりトータルコスト(⑥/⑨)(円)	99	123
うち区の支出額(⑦/⑨)(円)	94	115

■施設使用料 洋室 1,100円～ 和室 1,900円～ 茶室 1,000円～

※使用時間帯によって異なります

■駐車場使用料 30分毎 100円 最大料金 施設利用者500円(一般700円)

足立区立保育園に係るコスト計算書

(子ども家庭部 子ども政策課、保育・入園課、私立保育園課)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況	
ア	千住保育園(定員125人)が民営化されました。
イ	区立保育園全園に導入したコドモン(保育業務支援システム)に、アンケート機能を追加するなど一層の機能の充実を図ることで、保護者の利便性を高めました。
	【定員】区立保育園27施設 2,750人 公設民営園15施設 1,428人
(2) 今後の展望	
	保育施設利用に係る申請や、園見学予約のオンライン化を進めるなど、事務の効率化を図るとともに、保育の質の向上を図ります。

(千円)

2 コスト計算書

	令和4年度	令和5年度
【費用の部】		
①施設にかかるコスト		
一般職員人件費	3,696	0
会計年度任用職員人件費	168,809	150,608
修繕費	30,070	29,033
改修費	23,869	23,979
光熱水費	133,529	116,781
委託費	17,251	11,411
使用料及び賃借料	24,555	6,024
①の合計	401,779	337,836
②運営・事業にかかるコスト		
一般職員人件費	4,034,502	3,722,741
会計年度任用職員人件費	1,453,655	1,205,506
修繕費	8,286	10,855
委託費	506,620	512,531
使用料及び賃借料	23,557	20,730
車両・備品購入費	28,996	41,120
負担金補助及び交付金	45,648	24,303
その他物件費	348,878	357,855
②の合計	6,450,142	5,895,641
③指定管理委託料	2,894,325	2,670,169
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	9,746,246	8,903,646
④減価償却費相当額	50,787	32,788
【収入の部】		
⑤収入		
分担金及び負担金(収入)	399,496	482,457
⑤の合計	399,496	482,457
【総括】		
⑥トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③+④)	9,797,033	8,936,434
⑦収支差額(ネットコスト⑥-⑤)	9,397,537	8,453,977
⑧入所園児数(人)	3,721	3,560
利用一人あたりトータルコスト(⑥/⑧)(円)	2,632,903	2,510,234
うち区の支出額(⑦/⑧)(円)	2,525,541	2,374,713
⑨足立区の人口(4月1日現在)(人)	689,258	691,372
区民一人あたりトータルコスト(⑥/⑨)(円)	14,214	12,926
うち区の支出額(⑦/⑨)(円)	13,634	12,228

■ 令和5年度 保育園児一人あたりの保育料の平均額

区立保育園 112,587千円÷508人=222千円

公設民営園 82,237千円÷348人=236千円

足立区立小学校・中学校に係るコスト計算書

(学校運営部 学校支援課・学校施設管理課・学務課)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況

ア 小学校67校・中学校35校に係る経費のうち、良好な学習環境を維持するための以下「維持・整備経費」及び「学校建設費」を基にコスト計算をしました。

(ア) 維持・整備経費

- ①光熱水費・電話料等
- ②各種設備の保守点検、機械警備委託料
- ③用務業務委託料
- ④給食調理用備品の更新
- ⑤その他 小規模な修繕等

(イ) 学校建設費
更新時期を迎えた学校施設の改築

イ 新築・改築工事実施校の減少により、学校建設費の支出額が減少するとともに、国庫支出金の収入が減少しました。
【令和4年度、新築・改築工事実施校（2校）】鹿浜未来小学校、東綾瀬中学校
【令和5年度、新築・改築工事実施校（1校）】東綾瀬中学校

(2) 今後の展望
小・中学校は、今後も更新時期を迎える学校が途切れなく続きます。引き続き、計画的な改築工事を実施していきます。

(千円)

2 コスト計算書※1

	令和4年度	令和5年度
【維持・整備経費】		
①経常的経費 小計		
光熱水費	1,671,916	1,487,965
修繕費	277,403	290,883
建物管理委託料等	3,072,956	2,982,447
①の合計	5,022,275	4,761,295
②安全対策費 耐震補強事業	0	0
③改修工事 校舎改修等	4,312,663	5,198,343
④校舎等借上料金	0	0
【学校建設費】		
⑤校地購入	0	0
⑥改築・解体工事、仮設校舎賃借料等	6,588,843	1,105,968
【収入の部】		
⑦収入		
国庫支出金	1,116,574	199,657
都支出金	103,143	43,332
その他	36,013	37,918
⑦の合計	1,255,730	280,907
【総括】		
⑧施設関連経費の合計 (①+②+③+④+⑤+⑥)	15,923,781	11,065,606
⑨収支差額 (⑧-⑦)	14,668,051	10,784,699
⑩児童生徒数 (人)	43,995	43,282
児童生徒一人あたり施設関連経費 (⑧/⑩) (円)	361,945	255,663
うち区の支出額 (⑨/⑩) (円)	333,403	249,173
⑪足立区の人口 (4月1日現在) (人)	689,258	691,372
区民一人あたり施設関連経費 (⑧/⑪) (円)	23,103	16,005
うち区の支出額 (⑨/⑪) (円)	21,281	15,599

※1 「足立区施設白書」にあわせて、学校建設費等を含めた施設関連経費を掲載しています。

※2 建物管理委託料等には、給食調理委託等の運営に係る経費は含まれていません。

※3 児童生徒数は、当該年度の5月1日現在の人数（普通学級〈四中夜間除く〉＋特別支援学級・固定）。

校外施設(足立区立鋸南自然の家・足立区立日光林間学園)に係るコスト計算書

(学校運営部 学務課)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況

ア 鋸南・日光自然教室では、学校生活では達しない集団生活の体得と、自然や地域文化に親しむ社会体験を2泊3日で実施しています。

イ 新型コロナウイルス感染症が5類となり、令和4年度よりも一般利用者数が増加しました。

【一般区民延利用者数】	令和4年度	令和5年度
鋸南自然の家：	7,143人	9,505人 (+2,362人)
日光林間学園：	4,023人	4,655人 (+632人)
【自然教室延利用者数】	令和4年度	令和5年度
鋸南自然の家：	11,440人	11,054人 (-386人)
日光林間学園：	11,011人	11,047人 (+36人)

(2) 今後の展望

施設の老朽化が進んでおり、長寿命化を図るための改修や施設の在り方等についての検討が必要です。鋸南自然の家は、大規模改修を予定しています。

(千円)

2 コスト計算書

	鋸南自然の家		日光林間学園	
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
【費用の部】				
①施設にかかるコスト				
修繕費	9,698	3,055	786	26,547
委託費	512	686	558	383
光熱水費	22,969	18,446	11,423	11,564
使用料及び賃借料	4,848	4,848	0	0
①の合計	38,027	27,035	12,767	38,494
②運営・事業にかかるコスト				
車両・備品購入費	1,986	0	1,155	0
その他物件費	1,170	613	463	355
②の合計	3,156	613	1,618	355
③指定管理委託料	113,987	114,402	78,501	81,959
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	155,170	142,050	92,886	120,808
④減価償却費相当額	56,126	56,126	46,687	46,687
【収入の部】				
⑤収入				
使用料収入	9,035	11,228	5,070	4,837
⑤の合計	9,035	11,228	5,070	4,837
【総括】				
⑥トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③+④)	211,296	198,176	139,573	167,495
⑦収支差額(ネットコスト⑥-⑤)	202,261	186,948	134,503	162,658
⑧年間利用者数(人)	18,583	20,559	15,034	15,702
利用一人あたりトータルコスト(⑥/⑧)(円)	11,370	9,639	9,284	10,667
うち区の支出額(⑦/⑧)(円)	10,884	9,093	8,947	10,359
⑨足立区の人口(4月1日現在)(人)	689,258	691,372	689,258	691,372
区民一人あたりトータルコスト(⑥/⑨)(円)	307	287	202	242
うち区の支出額(⑦/⑨)(円)	293	270	195	235

■施設使用料(1泊)

大人1,650円 子ども750円

(賄料 大人2,000円、子ども1,000円を除く ※令和6年度より 大人2,500円、子ども1,250円)

■足立区立鋸南自然の家は平成18年度から、足立区立日光林間学園は平成17年度から、指定管理者による管理・運営を行っています。

8 主な事業に係るコスト計算書

(1) 対象事業

ここでは、区民生活に直結し、行政が継続的に担う必要があり経年比較でき、事業費の大きい事業を選定しています。

(2) 内容

令和5年度の状況及び今後の展望、かかった経費とその財源に加え、地方公会計制度の考え方に基づいた現金会計以外のコストとして退職給付費用を盛り込み、利用者並びに区民一人あたりのコストを計算しています（事業の内容にあわせて、一部表記等を変更している場合があります）。

<<表の見方>>

(事業名)に係るコスト計算書							(〇〇部 〇〇課)						
1 令和5年度の状況及び今後の展望													
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 事業費には、事業を行う上でかかる委託料や物品購入費、運搬費、郵送料などが含まれています。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 一般職員・再任用職員は、1人あたり平均単価×職員数で計算します。これに、会計年度任用職員人件費総額を加算して②を算出します。実際の支給額とは異なります。 </div>													
2 コスト計算書							令和4年度	令和5年度					
【費用の部】													
①事業費の総額													
②平均年間人件費													
一般職員人件費	単価	R4	8,054	R5	8,143	人							
再任用職員人件費	単価	R4	3,696	R5	3,985	人							
会計年度任用職員人件費	総額	R4		R5		人							
②の合計						千円							
現金収支を伴うコスト 計(①+②)							千円						
③退職給付費用							R4	609	R5	145	千円		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 職員が1年勤務することで増加する退職金の平均増加額×従事一般職員数で算出。実際の退職金とは異なります。令和3年度は、退職給付引当金が減少したため、マイナスになりました。 </div>													
【収入の部】													
④収入													
都の負担分						千円							
国の負担分						千円							
その他 (〇〇)						千円							
④の合計						千円							
【総括】													
⑤トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③)							千円						
⑥収支差額(ネットコスト⑤-④)							千円						
⑦対象者数(利用者数)							人						
利用(対象)者数一人あたりのトータルコスト (⑤/⑦)							円						
うち区の支出額(⑥/⑦)							円						
⑧足立区の人口(4月1日現在)							人	689,258	691,372				
区民一人あたりトータルコスト(⑤/⑧)							円						
うち区の支出額(⑥/⑧)							円						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 区民一人あたりのトータルコストのうち、国等の財源を除いた区の負担分です。 </div>													

※表示金額は、表示単位未満の端数調整をしていないため、加減乗除をした金額に一致しない場合があります。

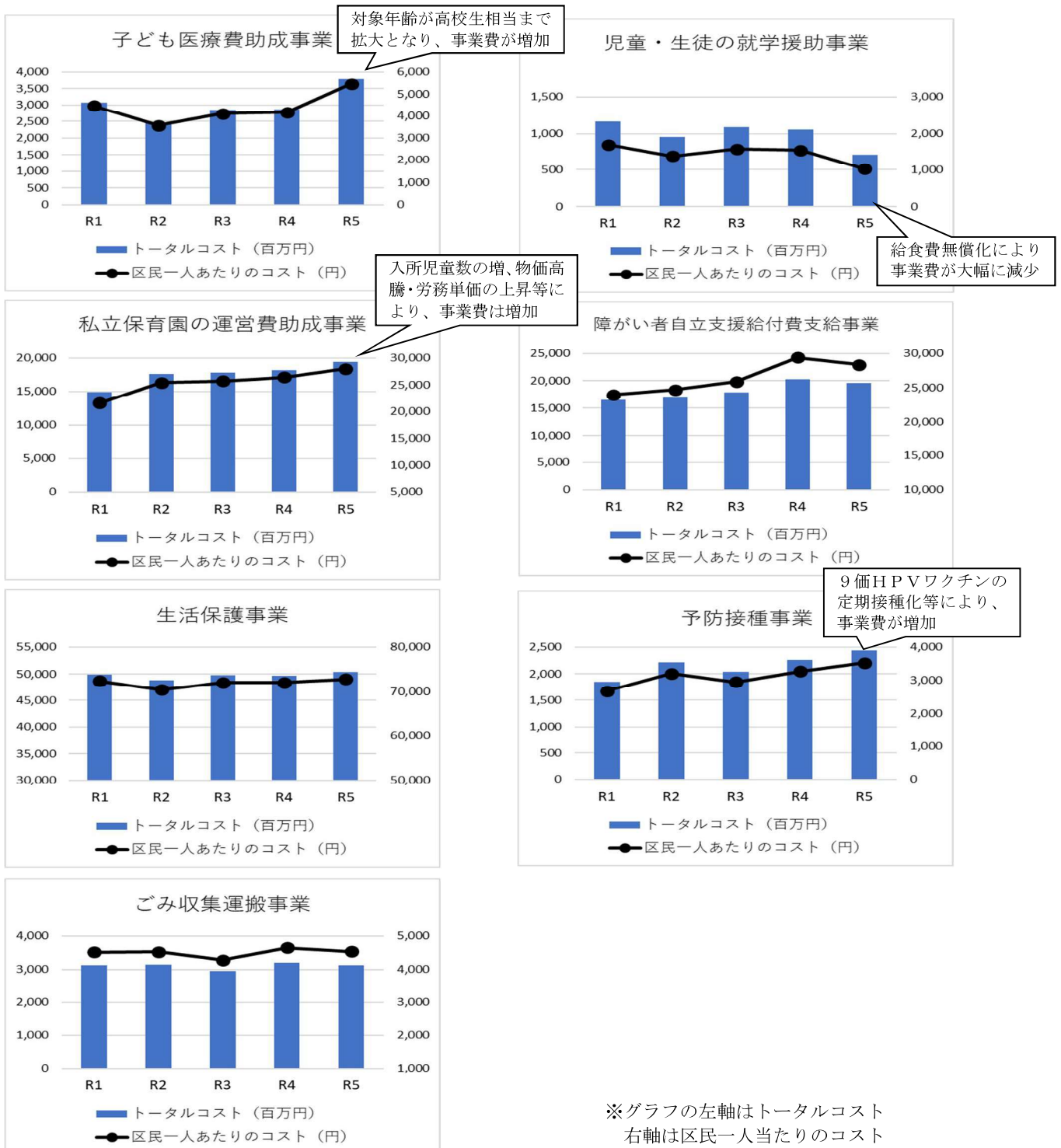
主な事業に係るコスト計算書総括

1 現状

- (1) 私立保育園の運営費助成事業のトータルコストは、入所児童数の増に加え、物価高騰や労務単価の上昇等により、年々上昇傾向にあります。
- (2) 生活保護事業は、生活保護受給者数の減少により生活扶助費は減少傾向にあるものの、医療扶助費や介護扶助費が増加し、事業費全体としては微増となりました。

2 今後の方向性

医療・福祉など社会保障費や、物価高騰や労務単価の上昇による事業費は、今後も増加が見込まれます。これらの事業は、区民生活に直結し、継続的に担っていくものであるため、サービスの質の維持・向上を図りつつ、引き続きコスト抑制や効率的な手法を検討していきます。



子ども医療費助成事業に係るコスト計算書

(福祉部 親子支援課)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況

ア 令和5年4月から、子ども医療費助成事業の対象年齢を高校生相当年齢まで拡大したことにより、「子ども医療費給付係」を新設し、職員数を増員しました。
対象児童の増加や、小中学校での感染症の流行、コロナウイルス感染症治療費の公費負担終了などに伴い、医療費の助成額は大きく増加しました。

イ 実績	令和4年度	令和5年度	前年度比
(ア) 対象児童数	82,824人	91,561人	8,737人増
(イ) 助成額	2,719,035千円	3,582,280千円	863,245千円増
(ウ) 対象児童一人あたりのトータルコスト	34,645円	41,277円	6,632円増

(2) 今後の展望

今後は少子化の影響により対象児童数は減少傾向となりますが、感染症の流行等による医療機関への受診回数の増加や、コロナウイルス感染症の公費負担終了等による1人あたりの医療費助成額のさらなる増額が見込まれます。これにより増加する業務について、引き続き遅延なく対応していきます。

2 コスト計算書

							令和4年度	令和5年度					
【費用の部】													
①事業費の総額							千円	2,811,876	3,701,195				
②平均年間人件費													
一般職員人件費	単価	R4	8,054	R5	8,143	人	5	7					
再任用職員人件費	単価	R4	3,696	R5	3,985	人	1	0					
会計年度任用職員(事務補佐員)人件費 総額							R4	3,485	R5	7,355	人	1	2
会計年度任用職員(事務補助員)人件費 総額							R4	7,093	R5	12,786	人	3	5
②の合計							千円	54,544	77,142				
現金収支を伴うコスト 計(①+②)							千円	2,866,420	3,778,337				
③退職給付費用							R4	609	R5	145	千円	3,045	1,015
【収入の部】													
④収入													
都の負担分							千円	8,374	325,231				
国の負担分							千円	0	0				
その他(返還金)							千円	10,896	16,059				
④の合計							千円	19,270	341,290				
【総括】													
⑤トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③)							千円	2,869,465	3,779,352				
⑥収支差額(ネットコスト⑤-④)							千円	2,850,195	3,438,062				
⑦対象児童数							人	82,824	91,561				
対象児童一人あたりのトータルコスト(⑤/⑦)							円	34,645	41,277				
うち区の支出額(⑥/⑦)							円	34,413	37,549				
⑧足立区の人口(4月1日現在)							人	689,258	691,372				
区民一人あたりトータルコスト(⑤/⑧)							円	4,163	5,466				
うち区の支出額(⑥/⑧)							円	4,135	4,973				

■ 足立区に住所があり医療保険に加入している高校生相当年齢(18歳に達した最初の3月31日)までの児童の医療費のうち、保険診療の自己負担分を助成します。
※ 所得制限はありません。

児童・生徒の就学援助事業に係るコスト計算書

(学校運営部 学務課)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況

ア 経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費等の必要な費用を援助し、義務教育の円滑化を図っています。令和4年10月から認定基準額を引き上げたこともあり、受給割合はほぼ横ばいとなりました。

【受給割合】	令和元年度	27.17%	【特別申請認定件数】	小学校	2件
	令和2年度	26.48%		中学校	6件
	令和3年度	26.07%		合計	8件
	令和4年度	25.80%			
	令和5年度	26.08%			

イ 給食費無償化に伴い、事業費の総額が減少しました。

(2) 今後の展望

認定者数は減少傾向にありますが、本事業は経済状況に大きく影響されるため、必要な方が事業を受けられるよう、幅広い周知や正確な認定・支給事務を行っていきます。

2 コスト計算書

							令和4年度	令和5年度					
【費用の部】													
①事業費の総額							千円	1,028,114	677,762				
②平均年間人件費													
	一般職員人件費	単価	R4	8,054	R5	8,143	人	3	3				
	再任用職員人件費	単価	R4	3,696	R5	3,985	人	0	0				
	会計年度任用職員人件費	総額	R4	4,718	R5	2,410	人	4	3				
②の合計							千円	28,880	26,839				
現金収支を伴うコスト 計(①+②)							千円	1,056,994	704,601				
③退職給付費用							R4	609	R5	145	千円	1,827	435
【収入の部】													
④収入													
	都の負担分 (小・中:東京都被災児童生徒就学援助支援等事業補助金)	千円					230	47					
	国の負担分 (中:要保護修学旅行費)	千円					2,923	3,471					
	その他	千円					10,000	0					
④の合計							千円	13,153	3,518				
【総括】													
⑤トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③)							千円	1,058,821	705,036				
⑥収支差額(ネットコスト⑤-④)							千円	1,045,668	701,518				
⑦就学援助対象児童・生徒数							人	11,352	11,289				
	受給児童・生徒一人あたりのトータルコスト(⑤/⑦)	円					93,272	62,453					
	うち区の支出額(⑥/⑦)	円					92,113	62,142					
⑧足立区の人口(4月1日現在)							人	689,258	691,372				
	区民一人あたりトータルコスト(⑤/⑧)	円					1,536	1,020					
	うち区の支出額(⑥/⑧)	円					1,517	1,015					

■令和5年5月1日現在区立小中学校児童・生徒数 43,282人 受給割合 26.08%
(普通学級〈四中夜間除く〉+特別支援学級・固定)

※ 小学校費 419,072,043円
中学校費 248,396,637円
庶務事務 10,293,724円

私立保育園の運営費助成事業に係るコスト計算書

(子ども家庭部 私立保育園課)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況

- ア 区内私立認可保育所での入所児童数は8,711人から8,953人に242人増加し、事業費は1,161,518千円増加しました。
- イ 保育所の安全対策支援経費として、送迎バス等安全対策支援事業補助を活用し、施設に対し88,337千円の補助を実施しました。

(2) 今後の展望

入所児童数の増、物価高騰、人件費の上昇等により、私立保育園の運営に関わる経費は増大傾向が続いています。今後も待機児ゼロの継続とともに適切な財政的支援により、保育の質の維持・向上を図ります。

2 コスト計算書

							令和4年度	令和5年度					
【費用の部】													
①事業費の総額							千円	18,120,065	19,281,583				
②平均年間人件費													
一般職員人件費	単価	R4	8,054	R5	8,143	人	8.99	8.99					
再任用職員人件費	単価	R4	3,696	R5	3,985	人	2.0	2.0					
会計年度任用職員人件費	総額	R4	0	R5		人	0	0					
②の合計							千円	79,797	81,176				
現金収支を伴うコスト 計(①+②)							千円	18,199,862	19,362,759				
③退職給付費用							R4	609	R5	145	千円	5,475	1,304
【収入の部】													
④収入													
都の負担分							千円	3,417,200	3,970,718				
国の負担分							千円	5,822,461	6,034,084				
その他							千円	771,198	715,000				
④の合計							千円	10,010,859	10,719,802				
【総括】													
⑤トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③)							千円	18,205,337	19,364,062				
⑥収支差額(ネットコスト⑤-④)							千円	8,194,478	8,644,260				
⑦対象園児数							人	8,711	8,953				
対象園児一人あたりのトータルコスト(⑤/⑦)							円	2,089,925	2,162,857				
うち区の支出額(⑥/⑦)							円	940,705	965,515				
⑧足立区の人口(4月1日現在)							人	689,258	691,372				
区民一人あたりトータルコスト(⑤/⑧)							円	26,413	28,008				
うち区の支出額(⑥/⑧)							円	11,889	12,503				

【令和5年度における主な実施事業の実績】

保育所運営費	18,293,678千円	113園
保育士等キャリアアップ補助	485,921千円	58園
保育サービス推進事業	192,804千円	58園
一時保育事業	17,106千円	6園
病後児保育事業	9,003千円	1園
安心安全確保事業補助	4,130千円	104園
送迎バス等安全対策支援事業補助	88,337千円	65園
学校110番機器更新補助	2,641千円	9園
物価高騰支援事業補助	55,854千円	112園

障がい者自立支援給付費支給事業に係るコスト計算書

(福祉部 障がい援護課)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況

ア 障がい者（児）に対するヘルパー派遣や日中活動などのサービスは、年々増加傾向にあり、利用件数、サービスに係る事業費とも、令和4年度を上回りました。サービスに係る事業費が増えているにもかかわらず、令和5年度の事業費の総額が令和4年度を下回ったのは、令和5年度の国等への返還金が令和4年度の返還金を大きく下回ったためです。

事業費総額から返還金を除いたサービスに係る事業費は、令和4年度18,078,601千円、令和5年度18,948,832千円になります。

イ 利用者一人あたりのコストが令和4年度に比べ8,887円の減となり、区民一人あたりのコストも1,063円の減となっているのも、区の支出額に含まれる返還金が令和4年度を下回ったためです。詳細は、「2コスト計算書」をご確認ください。

※1 事業費総額とは、「障がい者自立支援給付費支給事業」と「障がい者給付事業施行事務」の合計額です。

※2 利用者数は、実人数ではなく各種サービスの延人員数です。

(2) 今後の展望

社会の障がいに関する理解が深まり、障がい者の社会参加が進むとともに、障がい者数自体も増加傾向が続いており、今後もサービス利用者・利用量の増加が続くと考えます。

障がい福祉サービスが適切に提供され、効果的に障がい者のQOL（日常生活の質）の向上につながっているかを検証（モニタリング）するためにも、相談支援（障がい者・児の抱える課題の解決や、適切なサービス利用に向けた支援）の充実が不可欠です。

引き続きサービスの質の向上と相談支援の充実に取り組みます。

2 コスト計算書

							令和4年度	令和5年度					
【費用の部】													
①事業費の総額 ※1							千円	19,721,275	19,072,284				
②平均年間人件費													
一般職員人件費	単価	R4	8,054	R5	8,143	人	63	63					
再任用職員人件費	単価	R4	3,696	R5	3,985	人	0	0					
会計年度任用職員人件費	総額	R4	3,244	R5	3,244	人	2	2					
②の合計							千円	510,646	516,253				
現金収支を伴うコスト計(①+②)							千円	20,231,921	19,588,537				
③退職給付費用							R4	609	R5	145	千円	38,367	9,135

							令和4年度	令和5年度	
【収入の部】									
④収入									
都の負担分							千円	4,477,915	4,765,541
国の負担分							千円	8,769,236	9,354,988
その他（介護給付費等返還金）							千円	30	0
④の合計							千円	13,247,181	14,120,529

							令和4年度	令和5年度	
【総括】									
⑤トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③)							千円	20,270,288	19,597,672
⑥収支差額(ネットコスト⑤-④)							千円	7,023,107	5,477,143
⑦対象者数(利用者数 ※2)延人数							人	129,865	133,136
利用(対象)者数一人あたりのトータルコスト(⑤/⑦)							円	156,087	147,200
うち区の支出額(⑥/⑦)							円	54,080	41,139
⑧足立区の人口(4月1日現在)							人	689,258	691,372
区民一人あたりトータルコスト(⑤/⑧)							円	29,409	28,346
うち区の支出額(⑥/⑧)							円	10,189	7,922

生活保護事業に係るコスト計算書

(福祉部 足立福祉事務所)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況			
ア 生活保護受給者の減少等により、生活扶助費等は減少しています。一方、医療扶助費・介護扶助費ともに増加となりました。医療扶助費のうち特に入院医療費が増加しており、新型コロナウイルスの感染症法上の5類移行後、医療機関のコロナ病床確保等により制限のあった入院がコロナ前の状況に戻りつつあることが影響していると考えられます。			
【扶助費決算額】	令和4年度	令和5年度	
生活扶助費：	13,263,805,235円	13,074,005,088円	△1.4%
医療扶助費：	21,080,867,519円	21,930,945,041円	4.0%
介護扶助費：	1,037,611,541円	1,059,762,355円	2.1%
その他：	9,577,169,484円	9,455,096,422円	△1.3%
合計：	44,959,453,779円	45,519,808,906円	1.2%
イ 被保護人員数・被保護世帯数いずれも微減となりました。被保護人員数は5年連続で減少、被保護世帯数は令和3年度に一時的に増加しましたが、その後は減少しています。			
【被保護世帯・人員数】 ※東京都福祉局月報（各年度3月号）より			
	令和4年度	令和5年度	令和4年度 令和5年度
世帯数：	18,929世帯	18,810世帯（119世帯減）	人員数：23,866人 23,536人（330人減）
(2) 今後の展望			
都内における生活保護受給者は減少しており、足立区でも減少していくと予想されますが、相談件数が増加傾向にあるため、引き続き物価高騰の影響等を注視する必要があります。また、生活保護受給者の平均年齢は60歳を超えており、受給者の高齢化による医療扶助費や介護扶助費の増加が今後も見込まれます。			

2 コスト計算書

							令和4年度	令和5年度					
【費用の部】													
①事業費の総額							千円	46,975,481	47,745,979				
②平均年間人件費 ※1													
一般職員人件費	単価	R4	8,054	R5	8,143	人	296.6	297.4					
再任用職員人件費	単価	R4	3,696	R5	3,985	人	7.2	5.5					
会計年度任用職員人件費	総額	R4	108,658	R5	119,682	人	26.0	29.0					
②の合計							千円	2,524,086	2,563,328				
現金収支を伴うコスト 計(①+②)							千円	49,499,567	50,309,307				
③退職給付費用							R4	609	R5	145	千円	180,629	43,123
【収入の部】													
④収入													
都の負担分							千円	1,251,449	1,282,793				
国の負担分							千円	34,895,453	35,140,308				
その他(返還金等)							千円	645,222	589,974				
④の合計							千円	36,792,124	37,013,075				
【総括】													
⑤トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③)							千円	49,680,196	50,352,430				
⑥収支差額(ネットコスト⑤-④)							千円	12,888,072	13,339,355				
⑦被保護者数							人	23,866	23,536				
被保護者一人あたりのトータルコスト(⑤/⑦)							円	2,081,631	2,139,379				
うち区の支出額(⑥/⑦)							円	540,018	566,764				
⑧足立区の人口(4月1日現在)							人	689,258	691,372				
区民一人あたりトータルコスト(⑤/⑧)							円	72,078	72,830				
うち区の支出額(⑥/⑧)							円	18,698	19,294				

※1 平均年間人件費算定時の人数は、福祉事務所職員数から、文書管理・会計事務・福祉統計・庁舎管理等の事務量を除いて算出しています。

予防接種事業に係るコスト計算書

(衛生部 保健予防課・保健センター)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況	
ア	4月から「9価HPVワクチン」が定期接種化され、あだち広報、区ホームページ等で周知するほか、予診票を送付済みの方には圧着ハガキでお知らせしました。 【9価HPVワクチン接種者数 7,365人(延人数)】
イ	1歳児を対象に「おたふくかぜワクチン」の任意接種補助事業を開始し、1歳の誕生日に予診票を送付しています。 【おたふくかぜワクチン接種者数 3,191人】
ウ	带状疱疹の任意予防接種補助事業を8月から開始しました。コールセンター、オンライン申請、窓口で申請を受けつけました。 【带状疱疹ワクチン接種者数 1回：7,905人 2回：5,232人(延人数)】
(2) 今後の展望	
令和6年度は小児インフルエンザ任意予防接種費用の助成や、高齢者を対象とした新型コロナワクチン定期接種、高齢者肺炎球菌ワクチン任意接種の無料化等を実施する予定です。 今後も予防接種に関する最新情報を把握し、対象者に必要な予防接種を行うことで、区民の方の健康維持に努めます。	

2 コスト計算書

		令和4年度	令和5年度
【費用の部】			
①事業費の総額	千円	2,220,620	2,407,063
②平均年間人件費			
一般職員人件費	単価 R4 8,054 R5 8,143 人	3.4	3.4
再任用職員人件費	単価 R4 3,696 R5 3,985 人	0.3	0.3
会計年度任用職員人件費	総額 R4 4,728 R5 5,115 人	2.0	2.0
②の合計	千円	33,220	33,997
現金収支を伴うコスト 計(①+②)	千円	2,253,840	2,441,060
③退職給付費用	R4 609 R5 145 千円	2,071	493

		令和4年度	令和5年度
【収入の部】			
④収入			
都の負担分	千円	300,883	119,075
国の負担分	千円	14,761	14,715
その他(文書作成料・他区接種受託分含む)	千円	61,992	62,065
④の合計	千円	377,636	195,855

		令和4年度	令和5年度
【総括】			
⑤トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③)	千円	2,255,911	2,441,553
⑥収支差額(ネットコスト⑤-④)	千円	1,878,275	2,245,698
⑦対象者数(利用者数)延人数	人	239,281	234,230
利用(対象)者数一人あたりのトータルコスト(⑤/⑦)	円	9,428	10,424
うち区の支出額(⑥/⑦)	円	7,850	9,588
⑧足立区の人口(4月1日現在)	人	689,258	691,372
区民一人あたりトータルコスト(⑤/⑧)	円	3,273	3,531
うち区の支出額(⑥/⑧)	円	2,725	3,248

【対象予防接種(令和5年度)】 ※1 区が全額負担
(新型コロナウイルスワクチン接種事業は除く) ※2 区が一部負担

- 1 定期接種(※1)
 - (1) 小児
 - ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、ロタウイルス、四種混合、三種混合、ポリオ、BCG、水痘、MR[麻しん・風しん]、二種混合、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス(HPV)
 - (2) 成人[A類疾病]
 - MR(緊急対策として令和元年度～実施、風しん抗体検査を含む)
 - (3) 成人[B類疾病]
 - ア 高齢者インフルエンザ 自己負担額 0円/人
 - イ 高齢者肺炎球菌 自己負担額 0円/人
- 2 任意接種
 - (1) MR任意[小児] 自己負担額 0円/人(※1)
 - (2) 風しん蔓延防止対策(風しんの排除)
 - ア 風しん抗体検査 自己負担額 0円/人(※1)
 - イ 風しん単抗原 自己負担額 3,000円/人(※2)
 - ウ MR混合 自己負担額 5,000円/人(※2)
 - (3) おたふくかぜ 助成額 4,000円/人
 - (4) 带状疱疹
 - ア 生ワクチン 助成額 5,000円×1回
 - イ 不活化ワクチン 助成額 10,000円×2回

ごみ収集運搬事業に係るコスト計算書

(環境部 足立清掃事務所)

1 令和5年度の状況及び今後の展望

(1) 令和5年度の状況

ア ごみ収集量全体では、いずれのごみ量も令和4年度と比較して大きく減少しました。
特に燃やすごみは、令和5年度は118,406 t (令和4年度比3,600 t 減) と大きく減少しました。

【収集実績】	燃やすごみ	燃やさないごみ	粗大ごみ	計
令和5年度:	118,406 t	2,677 t	4,843 t	125,926 t
令和4年度:	122,006 t	2,805 t	5,211 t	130,022 t
増減	△3,600 t	△128 t	△368 t	△4,096 t

イ ごみ集積所におけるカラス対策として、専門的の知見を持つ事業者と連携し新たな対策を実施したことにより集積所美化の効果が得られました。

ウ 令和6年度からのプラスチック分別回収モデル実施に向けて、分別方法等の動画を作成し「動画deあだち」での発信の他、チラシ等を実施地区に全戸配布して周知しました。

(2) 今後の展望

令和6年度より、一部地域(千住、新田、小台・宮城)でプラスチック分別回収モデル事業を開始しました。課題の抽出や検証を行い、今後の全区展開に必要な対策を検討していきます。

2 コスト計算書

							令和4年度	令和5年度					
【費用の部】													
①事業費の総額							千円	2,073,650	2,042,893				
②平均年間人件費													
一般職員人件費	単価	R4	8,054	R5	8,143	人	120	117					
再任用職員人件費	単価	R4	3,696	R5	3,985	人	13	17					
会計年度任用職員人件費	総額	R4	45,052	R5	57,725	人	167	176					
②の合計							千円	1,059,580	1,074,130				
現金収支を伴うコスト 計(①+②)							千円	3,133,230	3,117,023				
③退職給付費用							R4	609	R5	145	千円	73,080	16,893
【収入の部】													
④収入													
都の負担分							千円	1,051	4,464				
国の負担分							千円	0	0				
その他(有料ごみ処理券等)							千円	359,753	365,502				
④の合計							千円	360,804	369,966				
【総括】													
⑤トータルコスト(費用の部合計 ①+②+③)							千円	3,206,310	3,133,915				
⑥収支差額(ネットコスト⑤-④)							千円	2,845,506	2,763,949				
⑦対象者数(利用者数)							人	689,258	690,114				
利用(対象)者数一人あたりのトータルコスト(⑤/⑦)							円	4,652	4,541				
うち区の支出額(⑥/⑦)							円	4,128	4,005				
⑧足立区の人口(4月1日現在)							人	689,258	690,114				
区民一人あたりトータルコスト(⑤/⑧)							円	4,652	4,541				
うち区の支出額(⑥/⑧)							円	4,128	4,005				

【ごみや資源の収集形態】

■収集品目：燃やすごみ(収集回数：週3回) 燃やさないごみ(収集回数：月2回)
粗大ごみ(収集曜日：月曜日～日曜日)・その他粗大ごみ自己持込

■集積所数：約31,000か所

明日のあだちへ。安心と活力を

令和5年度 普通会計決算のあらまし

知ると分かる。すると変わる。

令和6年9月発行

発行 足立区

編集 足立区 政策経営部 財政課

足立区中央本町一丁目17番1号

TEL 03-3880-5814 (直通)

FAX 03-3880-5610



SDGs MODEL ADACHI